感染研発第２０６号
令和６年３月１３日

各関係機関の長　　殿

国立感染症研究所長
（公印省略）

研究職員の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度当所では下記のとおり研究職員を募集することになりました。
つきましては、貴下職員にご周知下さるようお願い申し上げます。

記

１．職名等

| 職　　名 | 業　　務　　内　　容 | 応　　募　　資　　格 |
|---|---|---|
| 獣医科学部<br>第三室<br>研究員<br><br>（募集人数１名） | 獣医科学部は、動物由来感染症に関し、病原及び病因の検索並びに予防及び治療の方法の研究（これらに関するレファレンス業務を含む。）及び講習を行うことをつかさどる。<br>第三室においては、獣医科学部の所掌事務のうち、稀少又は国内に存在しない動物由来感染症の予防に関する研究を行うことをつかさどる。<br>採用予定官職においては主に以下の職務を行う。<br>１．新興動物由来呼吸器感染症の診断・検査および基礎研究<br>２．新興動物由来呼吸器感染症の疫学調査 | １．コロナウイルス感染症に関する研究実績を有すること。<br>２．動物由来感染症の疫学調査に関する経験と意欲を有すること。但し、研究実績を有することが望ましい。<br>３．部内および部外との円滑な連携をおこなえること。<br>４．大学院博士課程を修了後概ね４年以内の学位（博士）取得者、若しくは同等と認められるもの<br>※上記１から４を満たすこと |

２．提出書類
(1)履歴書（市販用紙使用、高等学校卒業以降を記入し、写真を貼付。）
(2)主要研究概要（１，２００字以内）
(3)応募職の業務内容に関する抱負（１，０００字以内）
(4)業績目録（Ａ４版縦　横書き、別紙参照）
(5)論文別刷（１編以上）
(6)学位記（写し）又は学位を証明するもの（Ａ４に縮小すること）
(7)障害をお持ちの方で職場内での配慮を希望する場合はその旨を記載した書類

３．書類提出先及び提出方法
〒１６２－８６４０　東京都新宿区戸山１－２３－１　国立感染症研究所　所長　脇田　隆字

※応募書類の封筒に、「獣医科学部　第三室　研究員　応募」と応募職名を朱書きの上、所長宛て親展として書留にて郵送してください。なお、提出された書類は返却いたしません。

４．応募締切日　　令和６年４月１５日（月）必着

５．採用予定日　　令和６年７月１日（予定）

６．勤務地　　国立感染症研究所　戸山庁舎　東京都新宿区戸山１－２３－１

７．処遇

（１）給与は、「一般職の職員の給与に関する法律（昭和２５年法律第９５号）」等に基づき、学歴経歴等を勘案して決定します。

（２）１週間当たりの勤務時間は、３８時間４５分（週休２日制）です。

（３）年２０日の年次休暇（採用の年は、採用の時期により２０日より少ない日数となります。）のほか、特別休暇（夏季・結婚・忌引・ボランティア等）、病気休暇の制度が整備されています。

８．選考採用試験スケジュール

（１）第１次審査（書類選考）　令和６年４月中旬（予定）

（２）第２次審査（面接試験）　令和６年４月下旬（予定）

※　第１次審査（書類選考）を通過された方には、当方から第２次審査（面接試験）に関する連絡をいたします。

９．その他

国立感染症研究所と国立国際医療研究センターを統合し、新たな法人として「国立健康危機管理研究機構」を設置する「国立健康危機管理研究機構法」が令和５年６月７日に公布され、この法律の施行期日は、一部の規定を除き、公布日から起算して３年を超えない範囲内において政令で定める日となっています。このため、当該法律の施行により国立感染症研究所が法人となった場合、その日以前に本公募により国立感染症研究所職員として任用されていた者は、国家公務員ではなくなり、法人職員となります。

１０．問い合わせ先

国立感染症研究所　総務部人事課人事第一係　谷内

０３－４５８２－２６２５　　E-mail:jinji@nih.go.jp

１１．国立感染症研究所ホームページＵＲＬ

http://www.nih.go.jp/niid/ja/

# 業績目録

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．　著書

２．学術論文（学会誌発表等）
（１）欧文

（２）邦文

３．学会発表（講演・発表等）

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

（記入上の注意事項（共通））
１．上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名（発表雑誌名）の順で記載し、それぞれを改行すること。
２．年代の新しいものから順に記載すること。
３．発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
（例：Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002）
４．欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に（ ）書で和訳を記載すること。
５．各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。（単独は（単）、筆頭は（筆）、その他は（他））
※コレスポンディングオーサー（責任著者）の論文には、必ず各題名の書き出しに（責）と記入すること。
６．著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
７．長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

（参考例）

１．著書

①労働太郎、厚生太郎
（他炎症の組織病態
　○○社，PP.67-87，1989）

２．学術論文
（１）欧文
①Taro kousei、Jiro Kousei、Saburou Kousei、Tarou Roudou、Jiro Roudou、Saburou Roudou
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in USA , 2002
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００２年アメリカ）
　Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

（２）邦文
①厚生太郎、厚生二郎、厚生三郎、労働太郎、労働二郎、労働三郎
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００４大阪）
　Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

３．学会発表
①厚生太郎
（単）ラット皮下腫瘍の消長と○○○の相互関係について
　第２５回日本病理学会総会，東京，1989

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

①厚生労働省科学研究費補助金、（課題名）○○○○○○
　期間：平成○○年～平成△△年、金額○○○円／年

②科学研究費補助金、（課題名）□□□□□
　期間：平成○○年～平成△△年、金額○○○円／年